

本奨学金は、2009 年度に創設されました。今までに約 200 名の学生が受給し、それぞれのキャリア形成のために活用しております。 ※一人当たりの給付金額は 20 万円を上限としております。

▶ 海外調査・研究

- ・バングラディッシュでの、途上国援助の在り方を学ぶプログラムに参加
- ・フィリピンの国際稲研究所へ行き、農業の可能性を探る
- ・途上国で起業するという夢へ向けた現地調査
- ・フィリピンのゴミ問題解消へ向けた現地調査
- ・インドネシアにおける環境教育に関する現地調査

▶ 士業試験合格・資格取得

- ・多方面で活躍できる公認会計士を目指す
- ・公認会計士試験現役合格と大学の勉強との両立
- ・中小企業診断士の資格取得
- ・国家公務員試験の合格
- ・公認会計士試験に現役合格、会計の国際化に対応するための知識をつける
- ・労働基準監督官の合格と雑誌編集ボランティア
- ・在学中の国税専門官上位合格
- ・中小企業診断士試験合格
- ・商業科教員のプロフェッショナルになる (在学中の中小企業診断士合格と教員免許取得)
- ・労働基準監督官合格

▶ 進学・スポーツ

- ・大学院進学およびバレーボールの振興

▶ 留学・語学力向上

- ・開発経済学をさらに深めるため、イギリス大学院進学を目指す
- ・アメリカ長期留学、在学中に TOFEL80、HSK (漢語水平考試) 筆記 1 級、JLPT1 級取得
- ・サンディエゴ州立大学短期留学
- ・イギリス長期交換留学、国際ビジネス学修得、アジア文化発信
- ・フランス語習得と更なる国際経済の探究
- ・カナダ留学で英語とフランス語の向上を図る
- ・国際線パイロットになるための語学力の向上～ドイツ短期留学
- ・海外インターンシップによるビジネススキルと英語力の習得
- ・将来国際的に活躍するための語学留学

▶ 業界スキル習得・研修

- ・エアライン業界を目指す上でのスキル・語学力の向上
- ・経営組織構造の戦略を人的資源管理の戦略に関連付けてグループ経営を研修する
- ・プログラミングスキルの習得
- ・広告業界で活躍するためにコピーライター養成講座

その他の活動実績・レポートは WEB サイトにてご覧いただけます

中央大学 経済学部創立百周年奨学金 検索

グローバルに活躍できる人材の育成に力を入れています!

現在、経済学部では、国際感覚を身につけるため、海外でのフィールドワークを積極的に実施しています。ゼミによる海外における実態調査・研修活動をさらに充実・発展させるための「GFS=グローバル・フィールド・スタディーズ (渡航先: ニューゼaland、マレーシア、シンガポール等)」、海外の企業での就業体験やインタビューツアーを経て国際感覚を身につける「海外インターンシップ (派遣先: アメリカ、イギリス、タイ、インドネシア等)」など、学生が海外で学修する機会を設け、グローバル人材の育成を推進しています。



海外インターンシップの様子



海外インターンシップの様子



GFSでの現地調査、ニューゼalandにて

公認会計士試験 2 年次合格

私は経済学部創立百周年記念奨学金を、在学中の公認会計士試験の合格のために利用させていただきました。これには、経理研究所の講座の受講料、模擬試験費用、模擬試験会場や本試験会場への交通費、公認会計士試験受験料等に使用させていただきました。

公認会計士試験は、三大難関国家資格とよばれる難関資格であって、毎日 10 時間以上もの勉強をしなければ、短期での合格は厳しいといわれる国家資格です。そのため、大学の講義の時間を考慮すると、とてもアルバイトなどをやる余裕がありませんでした。そこで、この奨学金を給付していただいたことにより、すべての時間を受験勉強に費やすことができました。

この結果、2 年次で、公認会計士試験を 111 位で合格することができました。この創立百周年記念奨学金がなければ、絶対に今年での合格はあり得なかったと思います。奨学金をいただいたことに、とても感謝しています。本当にありがとうございました。

在学中における米国留学

私は 2014 年 9 月から 2015 年の 6 月までアメリカのワシントン州シアトルにあるワシントン大学へ認定留学生として留学しました。留学をした理由は、将来の日本の発展に貢献するという私の目標に対し色々な面で大きなプラスになると考えたからです。今回の奨学金はアメリカでの学費や教科書代、生活費として使わせていただきました。

留学を考える時に大きな問題の一つとして挙がるのが、金銭的な問題だと思います。実際にアメリカの大学の学費は中央大学の学費と比べると倍以上の違いがあります。私の場合は認定留学という形での留学なので金銭的な問題はとても大きな問題でした。しかし、この奨学金のおかげで両親への負担、金銭面での精神的負担、そして自分は学校の代表だという自覚が生まれました。

今まで自分のやりたいことに集中して取り組んでこられたのは、本奨学金の存在があったからです。本当にありがとうございました。

第一志望の大学院へ進学

私は奨学金を大学院進学における学習費として使用しました。主に、①研究レベルの高い卒業論文を仕上げ、修士論文の内容をふまえた研究に従事するための研究図書費、②海外の研究者の英語論文を読むため、また博士後期課程に進学するために必要な英語力の向上における学習費、③研究のためのパソコンと印刷機の購入費用に奨学金を充てました。

奨学金受給前は、自宅からの往復 4 時間の通学に加え、アルバイトをしながら大学院合格を目指していました。さらに、教職課程を履修していることで、他の人よりも多く授業を受講していました。そのため、大学院に向ける勉強と授業、アルバイトの両立は時間的に苦しいものでした。ですが、この奨学金のおかげでアルバイト時間を軽減することが可能となり、時間をうまく活用しながら効率的に大学院への勉強に励むことができました。その結果、希望である大学院に合格することができました。本当にありがとうございました。

夏季休暇中に海外インターンシップへ

経済学部百周年記念奨学金を給付いただき、履修している「海外インターンシップ日系企業コース」のために必要な航空券代や宿泊代などに充てました。

私のインターンシップ先はサンフランシスコにある日系のテレビ局で、メインの業務は TV 番組の取材のアポイントを取ることでした。

肖像権に厳しいアメリカの環境において、TV 取材のアポイントを取ることは想像以上に大変でした。サンフランシスコ中の飲食店に電話しても取材を断られ続け、また外国特有のメールや電話のレスポンスの遅さに苦戦し……。くじけそうになることもありましたが、新規開店の飲食店に的を絞って続けた結果、レストランの取材にこぎつけ、無事放映することができました。

このようにインターンシップを通じ、貴重な経験が出来たのも奨学金という支援があったからこそです。ありがとうございました。